

かえて現在の住区・町会・PTA・商店街などの結束につながっていったんですね。色々ご尽力ありがとうございました。



岡田 栄子

住区設立後の活動について

- 司会** 八雲住区設立後の活動はどのように行われたんですか。
- 岡田** 現在の八雲住区センターのような活動拠点がありませんでしたので、会合をやる時は大変でした。
- 小林** そうなんです。氷川神社や八雲小学校、八雲住区サービス事務所(注:コラムB)などを使いました。現在の西部地区サービス事務所の場所にあった区商連会館や城南信用金庫、都立大学跡地の学生会館もお借りました。申請や準備など本当に大変でした。
- 小杉** センターがないわけですから、住区の備品などを保管する倉庫もなかったんですよ。それで八雲小学校のプール下の暗い倉庫をお借りしていたんです。
- 小林** 当時はセンターがありませんでしたが、住区を設立した勢いでいろいろな活動に取り組みました。現在の住区活動の原型ができあがった時期だと思います。
- たとえば、区民まつりですが、当時は区民まつりを全住区一斉にやっていたんですが、八雲住区は設



小杉 貞子

立の翌年、昭和61年(1986年)の10月に氷川神社境内で始めたんです。時代なんでしょうが、自由が丘電話局に頼んで「無料ふるさとテレフォン」なんかをやったんです。大変な人出でしたが、この区民まつりが原型となって、平成8年に盆踊りを中心とした今の「八雲の夏まつり」になったんです。

- 小杉** 新年お楽しみ会も、元はといえば61年1月に都立大学跡地グラウンドでの新年スポーツ大会が始まりましたね。ソフトボール大会(現在は

コラムB

八雲住区サービス事務所

八雲住区サービス事務所(旧12出張所…八雲4-5-2)は、1階は行政窓口で、2階は八雲住区住民会議の資料やポスターなど、事務関係の作成をお願いしたり、会議室としても使用していました。

歴代所長さんは、八雲住区の常任委員会に毎回出席してください、西部地区スポーツ大会にも準備段階から協力していただきました。また、住区まつりには、職員の方々がコーナーを設け、住民との交流もありました。

平成10年には八雲住区センターが完成して、八雲住区住民会議の拠点となりました。

その後、八雲住区サービス事務所は平成11年廃止となり、現在は八雲、東根、中根、自由が丘、大岡山西の各住区サービス事務所が、西部地区サービス事務所に統合されました。

第1回 みんなの運動会



昭和63年(1988)3月13日

あめ食い競争、借り物競走、仮装ゲームなど子どもも大人も一緒に汗を流した。



写真で見る歩み

都立大学跡地を区民に!



平成2年(1990)11月6日

八雲小体育館での目黒区民大会。住民が統々と詰めかけ熱気に包まれた。